

秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（秦野市総合計画後期基本計画リーディングプロジェクト）等の外部評価について

（令和元年 7 月 8 日 総合政策課作成）

1 総合戦略の概要について

別紙「秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のとおり

2 評価の趣旨について

(1) 基本的背景

総合戦略では、国からの通知等により、学識経験者等の第三者の検証（意見）を求め、自己評価の透明性、客観性及び公正性を確保することが求められています。

(2) P D C A サイクルの実施

総合戦略で掲げた施策について、その進捗状況の効果や課題を検証し、必要な見直しを図るため、P D C A サイクルを実施し、変化し続ける行政需要に的確かつ柔軟に対応します。

(3) 市民等との共有

事業の推進に当たっては、行政のみならず、市民や事業者、関係者等がそれぞれの役割と連携のもとで協働により取り組んでいくことが必要であるため、評価結果（報告書）を公表し市民等と共有します。

3 評価の方法について

市総合戦略では、計画の進捗状況を検証するため、数値目標（K G I）と重要業績評価指標（K P I）を設定しています。K G I は、基本目標（大柱）ごとの施策の達成度合いを 5 年の計画期間を単位として検証するための指標で、計画期間終了後に検証することとしています。また、K P I は施策（小柱）ごとの進捗状況を基本的方向である中柱単位で検証するための指標であり、毎年、効果検証し、必要に応じて見直しを行うこととしています。

(1) 自己評価について

市では、各部局において、総合戦略における施策の最小単位である具体的施策 7 7 事業（小柱）の進捗状況について自己評価を行うとともに、中柱単位で K P I の達成状況の検証を行います。また地方創生関連交付金対

象事業（3事業）についても、総合戦略と一体的に評価を行うため、各部署において同様の作業を行います。

（総合戦略の具体的施策（小柱）の自己評価区分）

区 分		考え方
A	順調に進んでいる	数値目標を達成しており、施策の取組みが順調に進んでいるもの
B	概ね順調に進んでいる	数値目標を概ね達成しており、施策の取組みが概ね順調なもの
C	やや遅れている	数値目標の達成に向けて、施策の取組みがやや遅れているもの
D	遅れている	数値目標の達成に向けて、施策の取組みが遅れているもの

（交付金対象事業の自己評価区分）

区 分		考え方
A	非常に効果的であった	目標値を上回った場合など
B	相当程度効果があった	目標値を上回ることはなかったが、目標値を7割～8割程度達成した場合など
C	効果があった	目標値を上回ることがなかったものの事業開始前より改善した場合など
D	効果がなかった	事業開始前よりも数値が悪化している場合など

(2) 外部評価について

ア 総合戦略

市の自己評価及びK P Iの達成状況を踏まえ、4つの基本目標(大柱)ごとに4段階で評価を行っていただきます。なお、基本目標に向かっての進捗状況を客観的に検証するため、K P Iをひとつの指標としていますが、K P Iだけでは効果を測りきれない取り組みもあることから、小柱単位での取組状況等を勘案し、総合的な評価を検討していただきます。

（総合戦略の外部評価区分）

区 分	
A	基本目標に向かって順調に進められている
B	基本目標に向かって概ね順調に進められている
C	基本目標に向かってやや遅れている
D	基本目標に向かって遅れている

イ 地方創生関連交付金

市の自己評価及びK P Iの達成状況を踏まえ、3つの交付金対象事業について、2段階で総合的な評価を行っていただきます。

(交付金対象事業の外部評価区分)

区 分	
A	有効であった
B	有効とは言えなかった

ウ 評価の総括

総合戦略及び交付金事業において、今後、事業を推進するうえでの課題や改善すべき事項、期待する事項などについて、総括的なご意見をいただくとともに、市の自己評価と基本目標に向かっでの成果を測る指標であるK P Iの達成状況とが結びついていない場合や既設定のK P Iからでは、事業の効果が見えにくい場合などは、K P Iの見直しについてもご意見をいただきたいと思ひます。

4 今後のスケジュールについて

- (1) 10月中旬
総合戦略の外部評価（第1回）
- (2) 10月下旬
評価報告書（案）に対する委員コメントの提出
- (3) 11月上旬
総合戦略の外部評価（第2回・まとめ）
地方創生推進交付金実施事業の評価（3事業）
- (4) 11月中
市長へ報告、各部局へのフィードバック、新年度予算等への反映
- (5) 12月中
国へ報告、公表
- (6) 令和2年3月
必要に応じて総合戦略の改定